

それなりの理由があるとの認識も示された。春季大会時の理事会に諮る前に、提案趣旨を再調整してもらうよう、松野理事長から廣田理事に連絡をとることとする。

なお、これに関連して、現在の学会賞などの各賞については、学会の細則には何の規定もないことが問題となり、定款、細則、推薦規定の各段階で適切に規定するように改めることとなり、97年度の総会に提案できるよう庶務担当理事が原案を作成することとする。

#### 8. 「日本における気象研究に関する現状と将来像」の研究会設置について

日本学術会議気象学研究連絡委員会も担当している高橋理事から提案のあった、標記研究会を気象学会内に設置することにつき、常任理事会として討議。この問題は気象学会としてもコミットしていくべき重要な問題であり、現行のメソ気象などの5つの研究連絡会とは若干性格が異なるのでは、との意見が多数を占めた。このため、新たな研究連絡会とするよりは、理事会の総合計画のなかで活動してもらい、

必要な予算措置をとることが適当であるとの結論になった。高橋理事には庶務担当理事から常任理事会の意向を伝えることとする。

#### 9. 第29期役員選挙の立候補状況について

庶務担当理事から立候補状況について報告。理事・監事、全国区・地方区とも定数一杯の立候補となった。3月11日投票締め切りで現在投票中。開票のための選挙管理委員会は3月12日に開かれる。常任理事会としてその後の日程について討議し、3月25日に当選した理事候補者の会合をもち、推薦役員候補者について討議してもらうことにする。

#### 10. 地学関連学会連絡協議会委員の交代について

大西理事（庶務担当）に換え、永田理事（教育と普及担当）を委員に任命することを承認。このため、気象学会の同協議会委員は木村龍治、名越利幸、永田雅の3会員となる。

#### 11. 1996年度事業計画案・予算案について

現在までに把握している事業予定にもとづく素案について討議。今後も引き続き常任理事会で詰めていくこととする。

---

## 第10回 IGBP/GAIM 研究会のお知らせ

日時：1996年5月20日（月）13：00～17：00

場所：気象庁（東京・大手町）

参加費：無料

招待講演：

日野 幹雄（中央大学総合政策学部）他

その他一般講演

上記の日程で第10回のGAIM研究を開きます。地球圏と生物圏の相互作用について関心のある方はご参加下さい。

世話人：

及川 武久（筑波大学生物科学）・木田 秀次（京都大学理学部）